

令和5年度 貝毒プランクトン出現状況（8月23日現在）

男鹿半島戸賀湾で貝毒の原因とされるプランクトン（渦鞭毛藻 *Dinophysis*属）の出現状況を調査しています（4月から8月にかけて計12回）。

今期最後となる8月23日の調査では、その他の*Dinophysis*属として、*D.rudgei*が出現しました。

また、8月7日に採捕したイガイにおける下痢性貝毒検査では、毒量が検出されませんでした。

調査月日	水深	水温 (°C)	貝毒プランクトン出現量 (細胞数/L)			下痢性貝毒検査 (イガイ)	
			<i>D. fortii</i>	<i>D. acuminata</i>	その他 <i>Dinophysis</i> 属	検体採取日	試験結果 (mgOA当量/kg)
①	4/5	5 m	11.2	41	14	14	
		10m	11.2	41	23	32	
		20m	10.7	59	18	5	
②	4/18	5 m	11.4	162	59	77	
		10m	11.4	185	36	72	
		20m	11.2	200	52	20	
③	5/2	5 m	12.5	90	35	145	
		10m	12.3	343	84	91	
		20m	12	329	46	67	
④	5/11	5 m	13.8	21	4	25	
		10m	13.2	28	8	108	
		20m	12.6	60	25	91	
⑤	5/25	5 m	14.1	66		42	
		10m	13.3	88	7	67	
		20m	12.4	63		14	
⑥	6/5	5 m	18		3	45	
		10m	17.8		3	45	
		20m	15.4	9	9	39	
⑦	6/14	5 m	20.2		6	3	
		10m	19.5			21	
		20m	18.4		3	12	6/19 検出せず
⑧	6/26	5 m	21				
		10m	19.2			3	6/26 0.02
		20m	17.4				
⑨	7/5	5 m	23.5			18	7/3 0.01
		10m	22.4			3	
		20m	19.5			12	7/10 0.01
⑩	7/18	5 m	23.2			120	7/17 0.01
		10m	22.9			36	
		20m	22			30	7/24 検出せず
⑪	8/9	5 m	29			9	7/31 検出せず
		10m	28.8			18	8/7 検出せず
		20m	26.7			48	
⑫	8/23	5 m	29.2				
		10m	29.1				
		20m	29.2			3	

* 貝毒プランクトンの警戒値は*Dinophysis fortii*については200細胞/L（海水1リットルあたり200細胞）以上とされています（安本 1993）

* 下痢性貝毒は、0.16mgOA当量/kgを超えると出荷自主規制するように定められています。